

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第6号

令和2年5月11日 山内

○19日(火)から22日(木)と26日(火)から28日(木)

—学校再開に向けた取り組み—



5月8日(金)にメールでお知らせしましたように、臨時休業中ですが、国や県からの指導もあり、本日からまずは三日間、岩高生の皆さんと電話で安否を確認しています。三年生の先生方は岩高生と久しぶりに会話ができて本当にうれしそうでした。

さらに、19日(火)からの三日間と26日(火)からの三日間は、それぞれ学年・学級ごと分散して登校し課題を提出してもらったりしながら、

〔3年生と電話で話す安西先生〕

6月1日からの学校再開に向けた取り組みを徐々に行っていきます。まずは19日(火)からの岩高生との再会を楽しみにしています。なお、19日(火)から21日(木)や26日(火)から28日(木)の登校日に関して不安や聞きたいことがお有りの保護者の方は、遠慮無く担任までご相談ください。

○気になる短歌 —「コ + ロ + ナ」 「君」という字—

「しばらくは離れて暮らす「コ」と「ロ」と「ナ」つぎ逢ふ時は君といふ字に」

4月1日(水)大阪のイラストレーターの田中貞之さんが発表した短歌とイラストが大きな反響を呼んでいます。新型コロナウイルスが終息し大切な人と再会できることを願った短歌です。田中さんはお母さんの付き添いでいった病院の待合室で、新型コロナウイルスに関連する貼り紙を眺めていて、君という文字の中に「コ」「ロ」「ナ」を見つけ自分でもびっくりしたそうです。コとロとナと分けることで、social distance(社会的距離)を表現し、会えないつらさや未来への希望を力強くまとめた傑作は、多くの人の共感を呼んでいます。宮城を含めた30数県は今週にも非常事態宣言解除かと報道されていますが、しばらくは様々な我慢が必要だと思います。

新型コロナ対策として国は「新しい生活様式」を奨励し、自宅にいながら人とのコミュニケーションをとったり、2m、最低1mの人との距離をとったり、食事も外食ではなくデリバリーをとったりと人と人とのふれあいや直接のつながりがなくなりなんとも言えない寂しさを感じずにはいられません。この歌にあるように近い将来必ず人と人が直接関われる日が来ることを信じたいと思います。

校長のつぶやきも第6号までできましたが、主役の岩高生が登校できずにいますので、なかなか岩高生の活躍ぶりを紹介できずもどかしく思っています。では今回のつぶやきはこれでお終いです。